

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成22年12月9日(2010.12.9)

【公表番号】特表2010-510092(P2010-510092A)

【公表日】平成22年4月2日(2010.4.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-013

【出願番号】特願2009-537268(P2009-537268)

【国際特許分類】

B 4 1 M 1/04 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月20日(2010.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

溶剤の少なくとも一部を材料から除去して、溶剤を減少させた材料を得ること、
フレキシ印刷プレートの形状の上に前記溶剤を減少させた材料を配置すること、そして

、
前記形状から前記溶剤を減少させた材料を受容基材に転写すること、
を含む、フレキシ印刷のための方法。

【請求項 2】

前記受容基材上の前記溶剤を減少させた材料を、硬化させることを更に含む、請求項 1
に記載の方法。

【請求項 3】

前記材料が前記供与基材上に配置されるように、溶剤を含む材料を受けるように設定された供与基材と、

前記供与基材上に配置された前記材料から前記溶剤を除去して、前記供与基材上に配置された溶剤を減少させた材料を生成することができる溶剤除去装置と、

形状を含むフレキシ印刷プレートを取り付け可能に受けるように設定されたフレキシロールと、

前記フレキシロールは、前記供与基材に対して移動できて、前記印刷プレートの前記形状に、前記供与基材上の前記溶剤を減少させた材料を転写することができる、前記フレキシロールに対する前記バックアップロールの動きが、前記バックアップロールと前記フレキシロールとの間で受容基材を動かすことができ、前記溶剤を減少させた基材が、前記形状から前記受容基材に転写されることができるよう、前記フレキシロールに対して位置するバックアップロールと、
を含む、フレキシ印刷システム。

【請求項 4】

前記フレキシ印刷プレートを更に含み、前記フレキシ印刷プレートが、15マイクロメートル以下の横方向寸法を含む形状を含む、請求項 3 に記載のフレキシ印刷システム。